



来年度入学する年長さんに楽しんでもらい、入学を楽しみにしてもらおう！

### 幼稚園・保育園との交流会（2月4日）

1年生が生活科「あきとあそぼう」や「むかしあそびをしよう」の学習を生かして「そうわのひろば」を開きました。これは、相和幼稚園の年長さんをはじめ、来年度入学予定の幼稚園・保育園の年長さんたちを招待し、自分たちの考えて作った遊びを楽しんでもらおうというものです。また、5年生は、グループにわかれて校内を案内し、それぞれの場所の説明とそこにまつわる簡単なクイズを年長さんたちに出題しました。

1年生の考えた遊びは、「たからさがし」「さかなつり」「どんぐり・まつぼっくりの福笑い」「くじびき」「虫取り」などです。昨年度自分たちが年長だったときのことや、2年生の生活科での学習「つくってあそぼう」に招待されたときのことなどを参考にしながら、招待する年長さんたちが楽しめるように遊びのコーナーを工夫しました。

また、5年生は年長さんたちの緊張をほぐすために和やかな雰囲気をつくりながら校内を案内していました。例えば、校長室を案内した5年生の出したクイズは、「校長先生の名前は？ A：なかやま よしゆき B：なかむら よしこ」と、年長さんの笑顔を誘うものでした。



### 道徳科「二わのことり」の学習をとおして

1年生は以前に道徳科で、「二わのことり」というお話で、「みんながもっとなかよくなるにはどうすることが大切だろう」という学習をしました。この学習の終末に友達に優しくすることについて、児童Aが次のように発言しました。

友達に優しくすると、「うれしくなる」という発言です。だれがうれしくなるのでしょうか？相手も自分もということだと思います。「そうわひろば」で年長さんたちが楽しんでいる姿に、1年生は嬉しいという感情を抱き、充実感を味わいました。



#### 【二わのことり】

主人公の「みそさざい」は、「やまがら」のお誕生会に行こうか、「うぐいす」の音楽会の練習に行こうか、迷います。他の小鳥たちも「みそさざい」も「うぐいす」の家に行きますが、誰も行かない「やまがら」のことが気になってしかたありません。迷ったあげく、「みそさざい」は「やまがら」の家に行くというお話です。

児童A：なんか、もとからさ、なかよしだけれど、やさしくすると、もっと、なんか…、やさしくすると……。 (児童B：もっと友達になれるってこと?) うーん。それもそうだし…、なんか…。なんか、友達とかも、なんか、なんか、やさしくするとうれしくなるみたいだな…。おこっていると、なんか、かなしいみたいだな。

# 昔遊びをとおして交流し、世代をこえてふれあう楽しさ

昔あそび（令和2年2月10日）

今年も上大井福祉わかばの会、相和地区のボランティアの方々においていただき、昔遊びを体験しました。4校時には1・2年生の生活科として、昼休みには全校児童で、一緒に昔遊びをしました。お昼には、1・2年生と一緒に給食を食べて交流しました。

体育館でお手玉・あやとり・百人一首・福笑い・だるま落とし・ビー玉・紙飛行機を、運動場ではけん玉・はねつき・コマ・竹馬などを教えていただきました。

福祉わかばの会や相和地区のボランティアの方々と、福笑いや百人一首での偶然のおかしさに共に笑い、コツが必要な昔遊びでは、見事な技を見せてくれました。例年行っているとはいえ、昔遊びに慣れていない子どもたちを励ましてくれたり、うまくいったときには共に喜んでくれたりしました。とても楽しい一時を過ごすことができました。



## 寒さに負けない体づくり ～持久走記録会～

2月6日（木）にインフルエンザの流行のため延期になっていた持久走記録会を行いました。延期になったにもかかわらず、多くの保護者の方が応援に来てくれました。子どもたちは、その声援を受け、これまでの体育や朝マラソンでの成果を発揮しようと、精一杯走りきりました。この後も、子どもたちは朝マラソンを頑張っています。



## クラスの記録に挑戦 ～長なわ集会～

2月19日（水）に今年度2回目の長縄集会を行いました。どの学年も心を一つにして自分たちの記録更新をめざしました。なかまの失敗を受け入れ「どんまい」と励ます声や、他学年を応援したりアドバイスしたりする声がありました。6年生が長縄を跳んだ地面にはくっきりと「8の字」の跡が残っていました。



保護者、学校の教職員のみなさんへ

新型コロナウイルス感染症について、不安を感じておられる方も多いことと思います。

新型コロナウイルス感染症対策では、通常の風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、お一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。子供たちには、外から帰った時などに、必ず手洗いをしっかりとするとともに、正しい知識に基づいて冷静に行動するよう指導してください。

保護者の方や教職員の皆さんにおかれては、国や地方公共団体が発表する正確な情報を収集・把握していただくようお願いいたします。

また、新型コロナウイルスを理由としたいじめや偏見は、決して許されることではありません。今後も、中国から多数の子供たちが帰国することが予想されます。住み慣れた地域や学校を離れてつらい思いをしている子供たちや、感染拡大の防止に向けて懸命に働いているご家族を持つ子供たちを傷つけるような、心ない言葉や態度がとられることがあってはなりません。教職員の皆さんにおかれては適切な対応をとっていただくとともに、保護者の方におかれてもご配慮をお願いいたします。

令和2年2月7日 文部科学大臣 萩生田 光一

([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/coronavirus/index\\_00001.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index_00001.html))